

令和4年度 事業報告書

令和元年12月頃に発生した新型コロナウイルス感染症によって日常は一変し、今まで経験したことのない「世界規模の災害」に暗中模索の日々が続きましたが、令和4年度は感染が始まってから初めて、代表的な2つの感染症対策、「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」の発令されない年度となったことで、頑張ってきた感染対策の成果を実感し、以前の生活を取り戻す兆しが見える一年となりました。

こうした中、令和4年度は「つながりの実感」をテーマに掲げ、地域福祉活動計画の基本理念である「支えあいみんながつながる高根沢」を実現すべく、より個人に視点をいた生活支援の強化を図るため、地域支えあいセンターまるっとを通じて相談体制の充実を図る一方、貸し付けやフードバンクなどのセーフティーネット機能の向上させ、制度のはざままで苦しむ方々の受け皿をつくることで「人と人とのつながりの実感」に取り組みました。

また、地域でのつながりを強化するため、地域の居場所設置を推進することや生活支援コーディネーターによる地域支援で「場づくり」を、ボランティアコーディネーターによるボランティアの育成で「人づくり」を展開することで「地域とのつながりの実感」にも取り組むことが出来ました。

☆＝新規事業 ◎＝拡充事業 ●＝中止事業 ⊕＝コロナ対策

■地域福祉事業

身近な地域で支えあう地域住民の地域福祉活動を支援します。

<p>◎ 地域福祉計画・地域福祉活動計画事業の推進 【愛の基金事業】</p> <p>地域福祉計画・地域福祉活動計画の実施状況を、計画推進委員会を通じて点検</p> <ul style="list-style-type: none">・実施事業:各種ボランティア講座、エンディングノートの作成、新規サロンの立ち上げ・中間報告書の作成
<p>赤い羽根共同募金地域助成事業 【共同募金配分事業】</p> <p>地域団体(自治会、公民館等)の行う福祉活動に対し活動資金を助成</p> <ul style="list-style-type: none">・助成件数:2件・仁井田シニアクラブ しめ縄づくりによる伝統文化の継承(50,000円)・宝石台あおぞら子供会育成会 ラジオ体操による公園の緑化活動(29,738円)
<p>◎ 生活支援体制整備事業 ※まるっとで一体的に実施</p> <p>「高齢者を支える地域づくり」を進めるため、第2層生活支援協議体(中学校区毎に設置)の運営と住民同士の助け合いによる地域福祉サービスの開発促進</p> <ul style="list-style-type: none">・第1層協議体13回(内コアメンバーのみの会議9回)・第2層協議体16回(つながる絆あくつ協議体、北高暮らし支えあい協議体)・1,2層合同勉強会、さくら市協議体との交流会、シンポジウム「活躍の場は地域にあります」
<p>☆ 地域福祉サポート事業 ⊕ 【共同募金配分事業】</p> <p>本会又は地域団体が実施するコロナ禍に対応して既存事業の形を変えた取り組みや、新たな取り組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none">・福祉教育に使用する用具の購入(高齢者疑似体験用具、視覚障がいゴーグル、白杖)・ボッチャ(スポーツ)セット購入
<p>感染症対策用品の貸出 ⊕</p> <p>地域行事等に非接触体温計やパーテーションなどを貸出</p> <ul style="list-style-type: none">・クリアパーテーション:2件 非接触体温計:1件

■生活支援事業

日常生活に不安のある人や、困難な状況にある人をサポートし自立への支援をします。

☆ **日常生活自立(あすてらす)支援事業** ※運営を矢板市社協から本会へ
判断能力の不十分な方への金銭管理代行、書類等の預かりを実施
・ 延べ契約者数:12名 延べ支援件数:94件(支援外25件含む)

県生活福祉資金貸付事業(県社協事業窓口)㊦

他制度を利用できない低所得世帯等に対し、資金の貸し付けと必要な相談支援を実施
・ 新型コロナ特例貸付承認件数 ※令和4年9月末で受付終了
・ 緊急小口貸付10件(1,900,000円) ・ 総合支援資金初回:12件(6,300,000円)
・ 本則貸付承認件数
・ 教育支援資金:1件(384,000円)

町福祉金庫の運営

生活に困窮している方に相談と小口資金の貸し付けを実施
・ 新規貸付承認件数:7件(183,000円) ・ 償還件数:12件(147,000円)

フードバンクたかねざわの運営㊦

【共同募金配分事業】

食品の寄付を受け付け、様々な事情で食べ物に困っている方にお渡しする活動。
フードバンク協力事業所、店舗にフードポストを設置し寄付食品の回収を図る。

- ・ 寄付件数:408件(3,867kg)、提供件数:264件(3,247kg)
- ・ フードドライブ(イベント会場での出張回収)6回
- ・ 栃木県フードバンク活動促進支援事業補助金(30万)を活用した配布相談会(10/3)や、こども食堂での食料品の配布会(10/8)を実施

介護・介助用具貸与事業

介護ベッド等の介護、介助用品を無料貸し出し
・ ベッド:5件 車いす:41件 四点杖:5件 歩行器:1件 シルバーカート:3件

心配ごと相談所の開設

【共同募金配分事業】

※まるっとで一体的に実施
民生委員の協力を得て、月2回の相談所を開設
・ 開設:24回 相談件数:10件(解決1件、再来4件、他機関紹介5件)

㊦ 法律相談事業の実施

※まるっとで一体的に実施
弁護士が法律的な諸問題の相談に応じる場を開設。年4回から年6回に増設
・ 開設:6回、受付相数:30件(内不來場1件)、キャンセル待ち総数:32件

■ボランティア、住民活動の育成・強化活動 ※まるっとで一体的に実施

ボランティア活動、住民活動を活発にするための環境を整備し、各種講座を実施します。

ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターにおいて、さまざまな機関と協働し、ボランティアの振興を図るとともに、ボランティア人材を育成する各種講座を開催

- ・ ボランティア登録:75名(新規30名)、依頼件数:6件、マッチング人数16名
- ・ 各種講座の開催:傾聴ボランティア、災害ボランティア、障害者サポーター養成(協力)

<p>ボランティア保険助成事業</p> <p>ボランティア活動を行う方の活動保険料を助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校支援ボランティア:5校(224名)
<p>志民活動センター事業</p> <p>町民による社会貢献活動(志民活動)を支援し、団体間の横のつながりを活かしながらまちづくりを促進する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志民活動メールボックス設置:5団体登録、活動支援団体:6団体
<p>☆ 元気シニア応援窓口の設置</p> <p>町シニアクラブと連携してシニア世代の社会参加活動に関する相談窓口を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用人数:7名、利用目的:ボランティア4件、仕事3件(内マッチング5件)

■高齢者福祉対策事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、介護予防の充実等に努めます。

<p>ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への訪問と生活支援</p> <p>登録したひとり暮らし高齢者、高齢世帯への定期的な訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録ひとり暮らし高齢者:289名 登録高齢世帯:92世帯 合計381世帯
<p>安心見守り牛乳事業 【愛の基金事業】</p> <p>75歳以上のひとり暮らし高齢者に対して2日に1度の牛乳宅配による安否確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者:152名(小松牛乳80名、新栄堂72名) 延べ人数:1,836名 ※R5.3.31時点
<p>一般高齢者介護予防事業「元気はつらつ運動教室」の開催</p> <p>福祉センター及び図書館中央館、仁井田分館、上高ふれあいセンターにて高齢者を対象の運動教室を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合計開催回数:133回 延べ参加者数1,329名 ※感染対策のため参加上限を各会場25名に限定
<p>◎ 地域の居場所(ふれあいいきいきサロン)設置 【愛の基金事業】</p> <p>地域ボランティアを担い手としたふれあいいきいきサロンの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置数:16カ所(新設1ヶ所)、合計開催回数:186回
<p>高齢者見守り配食サービス</p> <p>ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対して昼食宅配による安否確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者93名、延べ配食数:8,145食

■障がい者福祉対策事業

障がい児者の生活を支援し、地域に対して理解の促進を図ります。

<p>朗読ボランティアと連携した広報朗読テープ配布事業 【共同募金配分事業】</p> <p>みすず会の協力を得て「広報たかねざわ」、「社協だより」の読替テープを作成し配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者:3名 設置施設:9ヶ所
<p>◎ 手話講習会(初めて講習、ステップアップ講習)の開催 【共同募金配分事業】</p> <p>初めて講習を週1回開催(タウンセンター)、ステップアップ講習を月1回開催(図書館中央館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めて講習:14回(登録17名)、ステップアップ講習:30回(登録16名)

障がい児と支援ボランティアとの交流事業 【共同募金配分事業】 GENKI応援ボランティアの協力を得て障がい児との交流事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ GENKI応援ボランティア研修事業(大洗水族館を計画したがコロナの影響で中止) ・ クリスマス会の開催(12/3 18名参加)
--

● 福祉認定店登録(未実施) 障がい者や高齢者の支援方法を学ぶ講習会に参加した店舗・施設を登録する事業

■ 福祉教育・子育て支援事業

児童福祉の推進のため、子育て環境の改善や学校と連携した福祉教育の推進を図ります。

子どもと高齢者の交流事業 【共同募金配分事業】 町内保育園にてシニアクラブ会員との交流会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施保育園:2園(空と大地保育園4回、ひまわり保育園1回)

児童生徒等に対する福祉体験講師派遣 学校で行われる福祉学習プログラムの提案及び講師の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施校:5校(阿久津小、北小、西小、東小、上高根沢小)

約束のハンカチ事業㊦ 【共同募金配分事業】 小学1年生、中学1年生を対象にハンカチを贈呈し感染予防の意識を高める。また、共同募金の取組に触れてもらう機会とする。シトラスリボン活動と協働事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 配布児童数:474名(小学校新一年生:233名 中学校新一年生:241名)
--

☆ 子ども食堂応援事業 【共同募金配分事業】 子ども食堂事業拡大を図るため、新たな子ども食堂の立ち上げを支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ こども食堂プロジェクトの運営支援 ・ オープニングイベント(5/14)運営費の助成(20,000円) ・ ボランティア活動保険料の助成(13回、24,950円) ・ フードバンクを通じた企業や団体による食料品の提供 ・ 各種助成情報の提供。中央共同募金会「赤い羽根ポスト・コロナ(新型感染症)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」の助成支援(200,000円) ・ 新型コロナ罹患世帯への宅配対応
--

☆ 育米(はぐくみまい)事業 【共同募金配分事業】 学校長期休業中の食料確保に困難を抱える児童生徒への支援として、フードバンクから提供を受けたお米を支給し食生活の改善を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用世帯:11世帯 提供総数:お米145kg

■ 災害時対策事業

災害を見据えた連携を図り、避難行動要支援者支援体制の強化を図ります。

避難行動要支援者台帳の作成及び管理 調査員が避難行動要支援者台帳の更新、新規調査等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者数:606名(内新規登録10名)、更新対応件数:538件 削除件数:72件
--

● 町災害対応訓練への参画(町訓練中止) 災害対応訓練において、在宅福祉ネットと協働して福祉対策本部の設置訓練実施

■福祉センターの指定管理運営

施設の設置目的に沿った運営をし、適切な管理を行います。

福祉センター相談事業 ※まるっとで一体的に実施 高齢者や障がい者の各種相談に応じ、適切な助言を行う ・相談件数:213件(内多機関協働ケース7件、アウトリーチ継続支援ケース1件)
各種団体への会議室等貸出 会議室、集会室を福祉団体等に貸出 ・集会室:315回(延べ2,881名)、娯楽室:107回(延べ770名)、会議室:271回(延べ982名)
● 福祉避難所拠点運用事業(災害ネットワーク会議開催なし) 災害時に福祉避難所の拠点施設として、関係事業所等と連携しながらネットワークを構築する
リモート会議専用スペースの整備 ☺ リモート会議など多様な施設利用方法に対応した会議スペースを整備 ・地域ケア会議(定例)、生活支援協議体コア会議(隔月)、各種研修にて活用
高齢者の福祉センターを利用したサークル活動の促進 福祉センターで行われる高齢者サークル活動を支援 ・囲碁、将棋、民舞、3B体操、フラダンス、手芸の各種サークルがセンターで活動

■情報発信

社協だよりやホームページを活用し、社会福祉協議会に関する情報の充実を図ります。

広報誌「社協だより」の発行 【共同募金配分事業】 年2回社会福祉協議会広報誌の発行 ・vol.18号5月発行、vol.19号10月発行
町内各種イベントでの啓発 町内外のイベントにて活動の周知、啓発 ・献血、保護猫譲渡会、図書館ご縁まつり、情報の森駅伝にてフードドライブ実施
◎ ホームページ、SNS(フェイスブック、インスタグラム)、LINEでの啓発(常設) ホームページを更新し各種情報を提供。またSNSやLINEでの情報の発信・相談の受付 ・ホームページ更新:3回、SNS更新:81回 内容:フードドライブ周知、たかねざわ探訪等

■日本赤十字社事業

日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区として、災害事業やボランティア支援を行います。

災害救援物資の交付 火災等の被害を受けた世帯に対し布団、毛布、救急セットを交付 ・交付:1件

赤十字奉仕団員活動

高根沢町分区赤十字奉仕団が行うボランティア活動を支援

- ・ 災害ボランティア講座でのハイゼックスを使った炊き出し実演(2回、延べ21名)
- ・ フードドライブの運営協力(3回、延べ12名)
- ・ 赤十字救急法等講習会の開催(2/22、22名)

■地域支えあいセンターまるっとの運営

複合的な課題に対して相談を受け止め、地域と専門職が連携して課題解決に取り組みます。

◎ 地域支えあいセンターまるっとの運営

「総合相談事業」、「ボランティアセンター事業」、「志民活動センター事業」を一体的に行うことによって多様化する相談を包括的に受けとめ、適切な支援に繋ぐ窓口を設置

生活支援体制整備事業 (再掲:地域福祉事業)

ボランティアセンターの運営 (再掲:ボランティア・住民活動事業)

志民活動センター事業 (再掲:ボランティア・住民活動事業)

総合相談事業 (再掲:指定管理事業)

心配ごと相談所の開設 (再掲:生活支援事業)

法律相談事業の実施 (再掲:生活支援事業)

☆ LINEを活用した相談の実施

- ・LINE登録者63名(内相談対応7名)

■募金活動

活動の財源確保として各種募金の推進を図ります。

赤い羽根共同募金の推進	2,400,117円
日本赤十字会費納入の推進	1,912,900円
町愛の基金造成の推進	1,475,004円
社会福祉協議会費の納入推進	1,938,400円
各種義援金、救援金の募集	
・ウクライナ人道危機救援金	75,119円

■その他の活動

不要入れ歯リサイクル

役場、福祉センターに入れ歯回収箱を設置

- ・役場玄関にリサイクル入れ歯回収ボックスを設置

善意銀行の運営

住民からの善意(物品寄贈)の窓口を設置

- ・寄付:3件 シルバー大高校OB会高根沢支部(タオル)、光陽台薬局(紙おむつ)、アライ実業(車いす)

各種委員会等への参画

- ・ 県社協理事、共同募金研究会、県ボランティア活動振興センター運営委員、医療介護多職種連携会議委員、宇都宮地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会

■担当事務局

関連団体等との連携を図り、必要な支援を行います。

日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区
日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区赤十字奉仕団
高根沢町シニアクラブ(運営支援)
高根沢町ひとり親家庭福祉会(運営支援)
高根沢町身体障害者福祉会(運営支援)

【再掲】新型コロナウイルス対策事業

コロナ対策

地域福祉サポート事業	地域福祉事業
感染症対策用品の貸出	地域福祉事業
生活福祉資金貸付事業(県社協事業窓口)	生活支援事業
フードバンクたかねざわの運営	生活支援事業
約束のハンカチ事業	児童福祉事業
リモート会議専用スペースの整備	センター指定管理運営

【再掲】共同募金配分事業

共同募金会を活用し、各種福祉活動に配分しています。

赤い羽根共同募金地域助成事業	地域福祉事業
地域福祉サポート事業	地域福祉事業
フードバンクたかねざわの運営	生活支援事業
心配ごと相談所の開設	生活支援事業
朗読ボランティアと連携した広報等朗読テープ配布事業	障がい者福祉事業
手話講習会(初めて講習、ステップアップ講習)の開催	障がい者福祉事業
障がい児と支援ボランティアとの交流事業	障がい者福祉事業
子どもと高齢者の交流事業	福祉教育・子育て支援事業
約束のハンカチ事業	福祉教育・子育て支援事業
子ども食堂応援事業	福祉教育・子育て支援事業
育米(はぐくみまい)事業	福祉教育・子育て支援事業
広報誌「社協だより」の発行	情報発信